

繪本豊臣勲功記

二編
貳

へ遠3
2209
12



門へ遠13 特
號 2209
卷 12

豊臣二編

繪本豊臣勲功記二編二之卷

目錄

織田信長上洛見將軍家
たけだののぶながのあがたけのつとむら

屬 議濃列攻
のぶながのあがたけのつとむら

柴田佐久間墨股為築此石
しばたのさくまのすみまたけのいづみ

屬 防禦苦戰
しばたのさくまのすみまたけのいづみ



秀吉以智謀築得墨股城

属 懋蜂須賀

蜂須賀堂用換泥上殿敵

属 君賜感帖



繪本豊臣勲功記二編卷之二

櫻澤堂山 編輯

織田信長上洛見將軍家属 儀濃列攻

山の高きふもらさるるも。仙もさる相河を。水は海に小生らさるるも。能
もまじく雲をくくく。實清洲城を當とも形あり。来らるるく威を隣
國小東より。遠道従前の企望を。達至せましくわが。起上洛の登道
一もひ。八十余人の勇士を。乗具し。脱小東名小名。一。瀬川一益
出迎へ。城中小精。入恭。一。登應。一。乘らせけ。小。織田。敵。地。進。ま。
ま。一。益。と。賞。一。も。ひ。奮。冬。以来。の。功。と。あ。ま。く。ひ。骨。ひ。玉。以。猶。伊。勢。の
國。司。北。畠。と。歴。由。之。以。預。備。と。嚴。密。小。謀。合。さ。る。黃。金。港。の。方。刀。一。口。く。子。自。ら
一。益。小。眼。へ。玉。ひ。意。を。後。途。を。ま。は。使。業。名。城。を。降。す。多。以。畏。情。や。う。の。霧。



行を以て関を釋より加を越す。伊賀の國柘植の如くも過す。其
 より上野名張に馳大和を出て初瀬より。然して泉列根小名に以て通路を令
 りと編濤て都小振き。室町所の新の幾き小強治らも使せり。所を所へ
 尾列の武門と鐵田と總て信長と洛つらると言ひて將軍家こそ言
 けり。管領代こそ好修理も又長慶も言ふ。後所は細川時元あり。又長慶も言ふ。長
 慶將軍家の所前小出は。言上へ奉る中。遠道と洛つらると。尾列の鐵田
 と福も言ふ。素新波武衛の居家あり。近來新波家騒動と居住は。其
 小ひと所乃なり。然る小信長と洛せり。是を新波家の守護する。尾列の
 中後藏とらんがたえあり。臣今愚案とめらる。渠を以て後遠返さ。河部小直
 一のまじ連小出さき。信長が重とむ。小侍河部計らひ玉つる。然る言
 と言ひせり。六。總て信長と洛せり。是より鐵田信長を身小替絶公

帽して最上魏しく威儀を極ひ。我輝公の廳前へ恭しく拜跪せり。遠响
 長慶信長より侍ひ尾列へ素新波武衛の末地と鐵田へ。其
 家の居家より。然る小近來威極く武勇と國中。小素新波武衛が追放
 その國を押領せり。世風のましく固えり。然と遠道と洛せり。恩枝ハ
 小川小明白小。言ひあきと縁同を。信長謹くその河部書調へて。其
 小信長祖系代より。新波家の居家小列領を。河部と河部。小素新波
 軍に河部程から。陳國の武士より。尾列を括らん。是を國の動ハ。其
 せり。然とも新波家の権威を。其を制する。其力か。是より。小信長の
 一様同程。小賦備要渡の地と守衛。其も。其も。信長。其も。其も。其も。
 這下國中。其も。其も。其も。其も。其も。其も。其も。其も。其も。其も。
 不幸の早世。其の後の新波家の行止。其も。其も。其も。其も。其も。其も。其も。其も。其も。

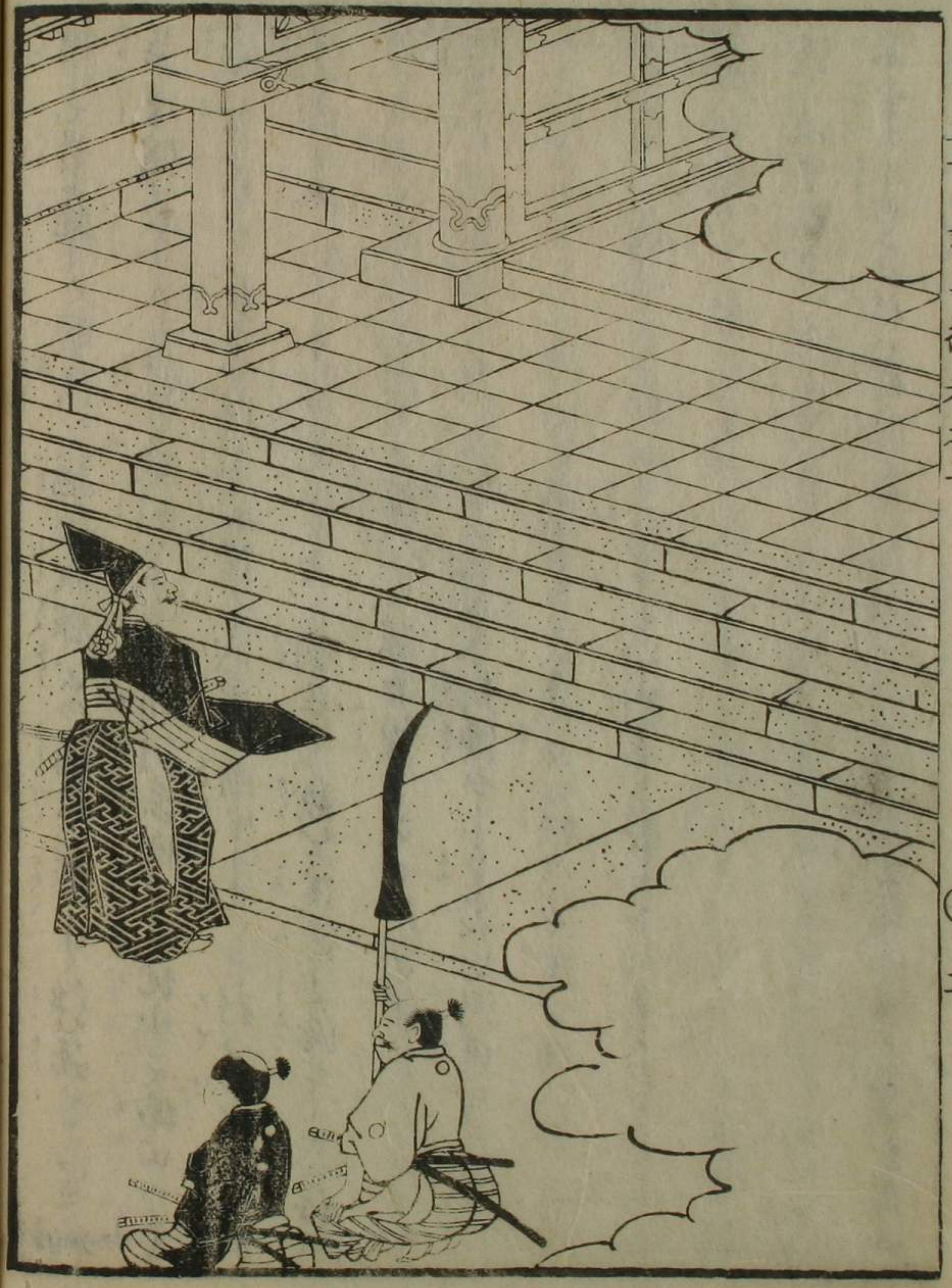
豊田言二 終上二二二

二二



信長
 情地
 上浴
 足利家へ
 謁せんと欲し

豊臣記二編卷之二



豊臣記二編卷之二

相死を小居不日小乞と率ひ。渠が居城を一時小破り。彦の弟と謀
畢ぬ。然とも終毒の者ありて。この家は長子義統とて。起る小随つて。
却て小居と謀せん。と軍を催すと。いふも事成らざり。清洲城を奪き。色
玉ふふり。止事を得て。國中の糧籍を推辭せ。傾小法を執行ひ。民
を安んず。ある所。駿府の城を義元討居。四万五千の大軍にて。上洛の衆
駕を。軍首小尾列の地と。括んとせり。由へ休養を得。小居は僅五千の
小勢と。將て。國境へ馳向。戦のうち。小義元朝居を。捕決。いへ。代まぬら。を
是が為。小つとみ。國中。殊小程。して。鄰國。をも。靜謐。ま。上洛つる
まつ。と。候と。次。勇。精。く。述。ら。ま。り。る。小。ぞ。將軍。家。を。か。も。と。清。感。の。清
氣。色。少。い。ま。と。右。傍。小。祇。借。せ。長。慶。も。信。長。の
言。語。程。小。して。事。理。明。白。ある。の。と。あら。だ。威。風。凜。々。と。て。援。辭。の。武。士

と。察。せ。し。く。渠。が。意。小。違。り。て。小。宣。し。く。は。親。く。好。と。通。し。更。と。察。ふ
して。自。己。が。腹。心。小。み。さ。り。や。と。顔。色。を。輕。り。つ。意。感。小。堪。ら。ず。總。列。信。長。を
駭。し。も。欺。り。し。小。能。も。一。國。を。破。つ。積。海。東。を。一。國。へ。今。川。義。元。の
大。軍。を。唯。一。戦。小。致。敗。せ。遂。小。義。元。を。伏。湯。と。し。此。を。ま。を。使。所。へ。り。
赤。代。の。雄。と。謂。ふ。日。部。波。家。の。沈。瀆。へ。織。田。五。郎。の。運。本。小。なり。更
と。是。下。から。君。は。い。れ。小。一。家。の。親。と。截。奔。て。逆。徒。と。伏。て。仇。を。報。國。家。を。平
治。せ。し。る。宗。最。甚。ら。る。大。功。を。と。尾。張。已。小。を。復。職。ま。く。鞆。國。と。る
上。へ。こ。ま。と。他。小。討。つ。小。賢。を。と。信。長。と。り。て。尾。刀。の。守。護。職。小。補。任。せ。ら。し。信
る。と。と。執。達。せ。し。く。將軍。家。小。も。秘。し。り。思。を。ま。し。思。材。を。清。免。る
小。して。信。長。冥。加。小。あ。ま。り。謝。を。律。九。遍。と。將軍。の。清。若。と。還。出。を。列。小。將
軍。の。評。使。者。あり。て。密。小。信。長。と。善。せ。し。も。命。を。ら。ま。り。や。う。信。長。弱。ま。り。て

京師の往來
驛ぐれを察く
信長帰路を
八風越の
峻岨ふ取る



直小幡路小越さけるが別守山を下向あり。翌日の間谷を穿行ち
 八風嶺を越越山路傳うて清洲まで。距離十七里の行程を一日
 小幡若あり。織田殿上洛の途と伺ひ。伏見家の老臣依種、密
 計せぬがらうき。途中事あく。坂城より。多き。運の量に涯なし。
 増く上洛せしき。後武光、深盛中へ。単樹も随く世相なき。遠
 威小宗とて。濃小及。提督兼の替傍を敷せんと。思ふ。玉。とも。改
 前小濃。疎忽小軍馬を敷。が。考先。玉。光隆の。音。玄。こと
 雲より。遠。永。福。五。束の。春。小。ぞ。あん。ぬ。一。次。本。下。孫。吉。節。松。結。結
 藩。と。勃。時。小。信。長。方。右。と。時。つ。て。兵。濃。攻。の。詞。と。玄。出。玉。時。小。秀。吉
 勝。以。て。河。原。近。く。進。軍。声。低。く。と。して。吟。言。を。ら。く。熱。く。濃。列。の。地。理
 せり。軍。の。利。鈍。を。懸。る。小。道。の。僅。小。一。日。路。ある。こと。中。間。小。二。天。河。あり。

不謂。勝。門。墨。股。川。あり。此。河。を。越。す。際。出。時。利。を。ま。ま。せ。秋。之。孫。の。公。士。出。陣
 る。し。於。要。の。地。小。備。を。設。け。戦。ふ。が。小。濃。方。の。自。方。不。覚。の。見。ま。せ。而。ま。ま。と
 友。せ。り。て。家。の。時。小。墨。股。川。の。地。小。利。門。と。背。後。小。足。瀨。の。岩。せ。壁。を
 小。築。立。多。大。將。と。龍。並。も。常。小。敵。玉。の。虚。實。を。窺。ひ。利。智。る。こと。此。の。進。軍
 攻。利。あり。んと。知。る。が。ら。う。退。て。家。を。守。ん。墨。股。川。より。稲。尾。山。まで。清。洲。六
 里。小。豆。く。さ。ま。濃。列。と。面。と。を。ら。ざる。こと。切。小。馬。士。孫。の。築。城。小。あり。よく
 河。原。原。ま。ま。ま。と。と。言。上。る。小。上。総。次。つ。ま。ま。と。忘。ま。く。小。濃。と。致。り。れ。是。最
 上。の。神。策。あり。明日。評。波。の。席。小。及。不。公。汝。も。諸。將。を。懸。と。ま。ま。と。結。束。せ。ら
 せ。て。濃。原。一。歩。翌。日。原。澤。一。奇。小。諸。士。を。廣。間。小。會。合。せ。ら。墨。股。川。小
 築。城。せ。ん。と。命。出。さ。ま。ま。と。時。本。下。秀。吉。進。出。命。付。如。君。の。神。策。を。圖。り
 當。て。面。公。實。濃。列。を。攻。め。ら。ん。少。墨。股。を。小。は。瀨。の。岩。せ。壁。を。稱。ふ。ま。ま。と。目

公之敵地小田原事。危き小幡の流矢。勇士の忠告とす。命に懸かれば
 惟しとて。敵大軍とて攻るとも。二日や五日と守城して。休らざる事な
 あるまじ。僅敵國と改執らば。其港攻第一の功とす。東西の必路
 終あり。別股城の結構。初孫政の軍首をま。遠義最志く。一と
 強く。勤めをならせ。織田殿大小執脱せらる。然らば。謀士が異
 見と平意。敵と符合する。緯こそ宜あり。惟ら遠事を奉行して。信
 構成就る。さむべと宣ひ。果して老臣達。列座とて。親臨し。互ふ。小
 幡小幡。たす。佐久間信盛。勝家小幡と會。暫かし。孫行。首と頭を
 若方。僅か。一。起。き。互ふ。別股。の。系。の。岩。の。結構。小幡。の。後。を。破。不
 小幡。を。僅。か。と。宣。ひ。小幡。田。殿。大。脱。し。互。ひ。小幡。を。僅。か。の。流。矢。と。す。官
 こ。と。と。掌。の。上。も。か。れ。忠。勤。を。九。段。を。人。又。い。う。や。ど。又。日。量。と。若。千。小

て。成。就。を。た。し。と。守。り。の。む。と。て。無。の。修。理。の。人。技。の。五。千。も。用。ら。ん。又。信。盛。の。防。つ。れ
 成。守。は。駿。車。と。之。千。も。別。小幡。僅。は。ら。ん。且。亦。日。の。成。就。あ。き。ん。と。所。し。た。き
 是。て。一。所。も。あ。ら。ず。東。小幡。丹。精。せ。ら。る。や。命。を。奉。り。佐。久。間。信。盛。八。千
 の。人。數。を。領。集。か。し。ま。づ。清。洲。の。山。小幡。投。杖。本。あ。ま。と。仕。敷。し。そ。は
 信。流。を。と。別。股。小幡。と。す。之。千。余。騎。の。敵。を。拒。抗。した。先。小幡。伍。と
 互。さ。せ。五。千。の。人。技。の。小幡。と。作。り。盡。敵。と。ら。し。と。出。精。を。と。岩。の。結構
 と。多。く。せ。や。ゆ。り。

柴田佐久間。信盛。股。為。集。此。屬。防。禦。苦。戰
 智者の天を翻す。勇者の地を曉ると。今佐久間右衛門尉信盛。尋常の
 方便より。此の結構。小幡とす。之。千。余。騎。の。侍。士。伍。遠。相。討。て。親
 る。より。も。又。千。を。信。長。大。河。を。隔。出。戦。備。ひ。が。れ。少。く。足。ら。ぬ。の。た。め。小幡

豊臣評三編卷之二

さんと業と違ふこそ。竊懐るも。那由小此と。業と違ふ。自軍は。久小隊。
 多。小此。徹田勢。と。退散せ。と。投村牛之助。長井隼人。同。花。彈。守。一。
 萬。余。隊。の。勢。也。り。て。夜。小。終。も。ぞ。推。進。す。依。久。間。の。亦。日。づ。く。の。裡。小。
 成。能。せん。の。諸。將。も。ま。日。夜。と。謂。え。る。人。柱。と。勵。ま。し。今。宵。へ。既。小。二。日。
 目。あり。九。十。の。人。支。息。も。も。づ。ぐ。と。上。と。下。と。拮。拮。や。ど。小。登。く。も。大。小。敵。を。
 づ。り。然。ども。依。久。間。が。拮。拮。さ。び。く。宵。小。途。な。く。出。精。く。夜。も。息。ら。
 ず。陣。も。あ。り。る。も。不。へ。氣。取。る。様。づ。の。一。萬。余。人。之。隊。小。體。正。面。より。長。
 井。花。彈。守。四。千。余。隊。岡。本。を。つ。ら。と。推。進。す。各。院。う。ち。掛。せ。え。鬼。も。依。
 久。間。を。と。ま。と。視。る。よ。も。頑。く。朝。一。と。事。も。ま。い。と。も。終。が。か。一。十。余。
 騎。と。如。鱗。小。も。あ。り。て。出。迎。へ。的。痛。く。防。れ。戦。ひ。く。長。井。と。も。ま。ち。付。散。ら。
 せ。散。々。小。奔。走。を。依。久。間。信。盛。も。是。を。恨。み。遂。に。返。せ。と。ま。り。る。も。

勝。小。隊。と。退。往。と。り。と。た。右。の。伏。を。破。散。し。と。响。を。合。り。と。り。も。多。小。長。
 井。隼。人。之。千。余。隊。投。村。牛。之。助。全。く。之。千。桃。廠。之。當。的。小。島。院。と。批。り。
 け。う。ち。鬼。責。起。り。ま。い。苦。情。纏。役。の。人。支。葉。肝。魂。も。身。小。院。を。と。途。と。じ。
 か。ろ。く。狼。狽。噪。ぎ。川。と。渡。り。く。途。を。や。と。舟。と。求。免。様。と。尋。ね。層。が。上。小。
 混。雜。と。ま。い。溺。死。と。る。輩。も。夥。く。積。上。具。も。皆。赤。染。漸。く。精。げ。一。村。本。も。
 散。れ。と。り。と。燒。を。と。り。新。の。壽。言。は。あり。と。も。知。ら。ね。六。信。盛。正。面。の。敵。と。防。
 ぎ。氣。を。た。と。り。其。不。小。背。面。の。首。より。不。意。と。伏。を。見。返。さん。と。振。り。む。け。
 飛。弾。守。が。四。千。余。隊。返。り。て。返。り。と。攻。着。る。此。敵。と。追。拮。さん。と。ま。い。る。た。右。より。
 隼。人。牛。之。助。隙。隙。も。ろ。く。擡。起。擡。と。ま。る。後。小。敵。を。一。万。自。言。い。之。千。餘。
 も。案。内。部。に。さ。る。徹。田。勢。遠。隔。小。至。責。是。那。角。小。遂。も。是。依。久。間。が。公。敵。心。
 へ。と。ま。い。と。暗。夜。の。事。由。へ。方。角。知。ま。い。と。擡。く。小。舟。負。て。河。頭。隙。隙。と。り。退。く。



陸兵發ひて周章をく。備正なる朝ふ自軍の遠隊伍とて之を小領ち。敵
 づとの固下の陣と攻めし。左右の奇をい。柵が足すことと。兼領ちのさかん
 小とそを分配せ。定めり。長井花野。同軍人。牧村牛之助。二人。小を
 六千余騎とて。二門。小領ち。日根野。備中。全跡。次。右。馬。四千。は。勢。と。二門
 小配。割。備。咄。と。呑。んで。時。刻。と。待。ち。あ。ら。い。五。月。は。漸。ま。る。ま。六。後。夜。の。稍。休
 易く。富。う。の。漏。声。の。所。由。こ。ろ。あ。ひ。い。ん。う。ち。聲。と。正。を。あ。ら。六。千。余。騎。の。兵
 藤。野。國。声。と。つ。う。て。推。進。と。ま。さ。も。柴。田。が。隊。伍。に。勢。を。け。ま。さ。あ。つ。と。も。陸
 が。お。静。て。居。り。敵。と。近。ぐ。と。匂。引。傍。せ。合。圍。の。一。炮。放。つ。や。吾。と。之。隊。は。構
 へ。一。号。銃。と。一。赤。小。砲。と。放。ち。な。ま。火。雨。敵。雷。は。荒。ま。さ。さ。と。く。有。係。小
 大。軍。の。兵。隊。勢。も。偈。さ。起。り。見。へ。ら。さ。し。備。家。然。こ。と。あ。ら。ぬ。は。一。當。あ
 へ。吹。崩。さ。ん。と。善。地。小。強。者。一。雪。と。振。ち。く。撤。遠。ま。さ。兵。隊。勢。も。あ。ら。ぬ。感。小

敵。と。右。進。た。連。と。機。札。を。勝。家。ま。ま。と。威。と。奮。ひ。己。后。の。機。責
 尾。張。武。者。が。助。骨。の。量。と。思。ひ。屋。ま。と。旗。伏。せ。構。備。を。難。難。し。敵。ち
 ん。小。あ。さ。ん。と。構。く。や。と。小。常。藤。官。の。六。千。余。騎。柴。田。が。三。千。の。小。勢。小
 ち。け。起。ら。ま。さ。と。構。ち。井。は。に。當。り。て。敗。走。せ。遠。く。日。根。野。に。身
 を。海。梢。より。土。堤。小。流。ひ。一。敵。の。背。面。へ。遠。く。小。島。院。の。善。難。声。は。声
 西。面。の。方。小。所。由。と。敵。の。軍。と。發。首。と。を。續。け。や。玄。策。と。い。ふ。ま。う。小。岸
 小。勢。が。一。船。代。と。ま。か。悉。く。截。ち。か。ぎ。見。付。た。右。小。推。進。と。は。後。構。小。を。注
 東西。より。響。聲。と。作。り。推。進。を。人。技。們。大。小。勢。備。ち。船。小。を。之。遣
 ま。ん。と。河。頭。小。の。を。搜。せ。ま。船。も。代。も。更。小。を。け。ま。さ。と。び。遠。小。途
 ぞ。ろ。し。あ。ひ。系。竹。の。せ。んと。機。機。ま。る。志。る。小。構。に。傍。家。の。正。面。の。敵。と。逆
 ち。ら。ひ。背。面。の。敵。小。向。い。た。と。取。り。返。せ。日。根。野。に。身。右。方。より。推。捕



再々
洲波
破らるる
柴田勝家
飽ま
憤激
烈戦



工夫神通の
智を統らし
秀吉
洲股小
城と築の
造材を
做しむ



然して繪圖と採出。修理の次第と遊一小方寸分過大なるを賤謀
 塙磔磔煤遠恒寨樓いらく小組分て切らせりる小より。本工石工その
 意を得日毎々小灯より雨まで二四日汗拭るるも惜まれて我者より勵
 小頼より抄迄成果まら。あま木下の下拵妙小人技の心を喜まへ
 賞技飲會の締小つひて分外小こまを興するあり。然る例殺小推沙塙
 礎と安重とと徇屬と。もう彼も小判らめ。爾後一丈五尺をく小源一丈有
 余ある。遠塙と塙穿る。その土より築揚ぐ垣の土根なるをせり。新堂心
 本容易あらわ。蜂沙が堂小恃りる。小六千余人を借小。細飲巨
 梨とらち揮ひ。肋骨感をも捲きりる。その中より一千二百余人を勝を敵の防
 禦小掃さる。内外の分配虚隙を。臺を勵むを以て。之日がうち小構一匹
 と撥果る。情四日白の握とる。塙とりのよまを以て。毛を捲く。之を以て。

一、殿とて切石のりて。石の積煤を築せりる。一、益居小く。後よと。新堂
 一日の休息あり。其次の日より極と建さ。四方の園門寨樓と。地形の
 高さ低の不應と。残る隅をく。あけ。翌天の一城成能を。一、と
 かのま。小初とを。然れど小案。藤方。以。若。両方の合戦小佐久
 同柴田と遊。石柱を焼休く。君臣借小。勇悦び。若。織田。若。
 小懲果。若。不。と。備。と。小。小。人。技。と。日
 小。小。植。構。う。頼。と。と。成。り。と。小。大。小。斬。愕。き。新。の。の。小
 小。速。不。築。出。せ。と。天。物。も。や。ある。鬼神。や。と。怪。と。怖。と。傳。法。ら。む。日。根
 新。長。井。板。村。あ。と。此。若。は。形。相。と。個。小。は。な。あ。小。大。勢。を。然。も。五。段。小
 隊。伍。と。然。も。若。勢。多。く。と。ま。と。五。千。騎。小。過。へ。自。軍。小。は。と。小
 中。分。り。行。と。切。拂。と。事。と。之。違。う。敵。と。敵。と。自。軍。も。五。段。備。是。と





根野依大垣小純ねの いたけ せいのちとて。敵一人も有あらず。能も手働く。津つつとぞ。計策けいさくとて。そのの。尋常じんじょうの合戦がっせんと。後のちと。取とりて。不ふ得とくか。何なにと。せん。と。なる。と。長井ながい花はな弾だまも。重おもく。と。あ。り。つ。さ。ぬ。鐵田てつでん勢せい。而しか。及およぶ。と。津つ。津つ。津つ。と。なる。と。這こ。遣つか。へ。つ。や。どの。事こと。も。な。さ。ず。と。一いっ。人にん。も。大おほ。河が。と。流なが。れ。と。敵てき。地ち。小せう。出で。陣ちん。せ。得とく。る。と。心こころ。中ちゆう。怖おそ。と。懐なつ。く。と。一いっ。人にん。も。案あん。内ない。も。暗くら。く。と。な。ま。い。る。と。今日けふ。の。軍いくさ。小せう。助すけ。依よ。と。惑まど。を。後のち。軍いくさ。と。一いっ。人にん。も。思おも。ひ。且かつ。終しゆう。日にち。の。疲つか。れ。小せう。助すけ。依よ。今いま。宵よ。ら。ち。解と。け。く。休やす。息み。を。定さだ。て。隊たい。伍ご。も。津つ。満み。み。らん。と。一いっ。人にん。も。推おし。進しん。夜よ。敵てき。と。暗くら。と。醒さ。さ。い。つ。小せう。と。謂い。え。將しやう。と。き。せ。と。して。夜よ。敵てき。の。津つ。満み。み。做し。ら。る。と。一いっ。人にん。も。備そな。へ。秀ひで。吉よし。の。例れい。後のち。小せう。助すけ。依よ。津つ。津つ。津つ。の。武ぶ。略りやく。と。賞しょう。一いっ。人にん。も。津つ。津つ。津つ。と。一いっ。人にん。も。款くわん。今日けふ。本ほん。意い。と。遂つい。と。敵てき。と。還かへ。り。と。一いっ。人にん。も。必かなら。ず。定さだ。め。今いま。宵よ。ら。ち。小せう。助すけ。依よ。自みづか。軍ぐん。も。一いっ。人にん。も。

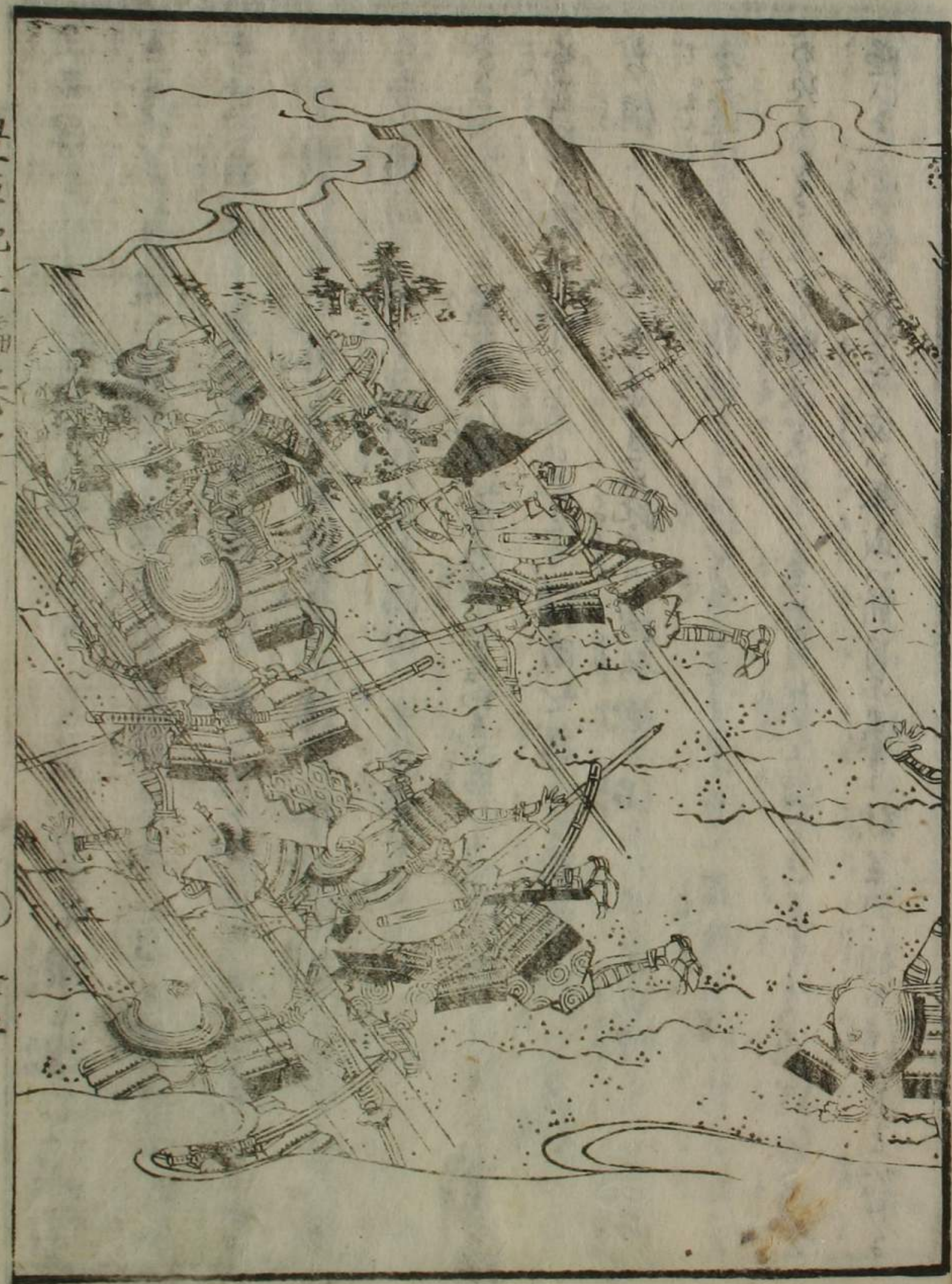
峰須賀の強兵
闇夜自在
進退
夜撃小向
濃州勢と
殺倒せむ

豊臣氏二編



氏家常陸の原素、初孫家の話中も、龍真思ふく、と道あり。いづれも
 龍真と信之、従つて唯道と附屬恩顧の諸士の、さめく小軍意と確を、是非
 別股小推進、勢若と攻崩さんと、評決厚ある、不日根野備中、抽てり。さ
 敵不憚り、城と進、一國と親、とんと、大事と抱、とと、吾等、自國、安
 途、と、敵と拒、別小、と、さ、自、七分、海、あり、然、各、心
 一、敵と敗、若と崩、一、是も、あ、と、折、と、立、玉、の、為、小、勇、氣、と、烈、主
 一、骨、と、粉、小、肉、と、糊、中、命、と、短、く、と、忠、奮、と、倍、利、と、得、と、い、は、後、を、は、と、準、備
 せ、い、ま、よ、と、勵、ま、さ、ま、て、皆、く、同意、一、勢、の、勢、八、十、余、人、井、口、大、垣、も、防、衛、と、さ、せ、諸、士
 各、軍、の、各、操、揚、今、日、と、い、ふ、今、日、と、い、ふ、此、若、と、微、塵、小、さ、と、い、ふ、折、言、此、城、小、降、ま、じ
 と、號、進、を、打、起、り、諸、又、本、秀、吉、の、修、理、の、場、と、覺、巡、り、今、又、一、日、お、い、は、大、既、成、輪
 と、一、從、令、敵、を、進、ると、も、禰、中、所、と、い、は、強、く、修、理、と、丹、精、と、い、は、と、懇、勤、小、申

後、又、輝、次、賢、へ、指揮、多、く、不、回、敵、を、進、來、り、今、天、の、白、雨、矢、色、中、之、北、風、烈
 しく、吹、起、ぬ、ま、さ、如、く、不、計、ら、ぬ、ま、さ、然、も、ま、力、を、勞、せ、と、と、敵、と、防、ぐ、の、便、利
 あり、ま、上、も、猶、進、來、り、諸、士、核、と、準、備、と、若、此、小、擡、う、ま、と、と、亭、夜、と、り、て
 指揮、り、ま、輝、次、賢、堂、に、集、り、初、て、進、來、り、若、面、枯、柴、燒、中、と、多、く、核、揚、
 目、示、敵、軍、の、核、と、御、小、路、を、待、蒐、り、當、日、己、の、刻、過、り、以、て、後、撥、半、路、
 別、股、當、と、推、進、と、ま、と、見、る、より、輝、次、賢、堂、被、此、燒、軍、火、と、敵、が、北、風、烈、と、
 吹、ま、り、進、ま、り、來、る、途、條、を、在、家、く、火、燃、移、り、火、烟、進、ま、吹、け、り、況、況、
 三月、中、暑、氣、を、以、時、節、を、以、汗、目、は、小、流、入、面、向、ま、を、御、進、ま、と、發、車、
 の、惱、之、又、方、あら、ぬ、と、長、井、花、彈、者、大、喜、小、今、更、に、夜、を、驟、雨、と、い、今、此、刻、
 一、と、核、(一)と、核、と、源、と、あり、ぬ、と、い、は、と、一、時、小、路、と、と、指揮、と、傳、て、稍、毒、時、
 核、の、息、絶、と、い、は、と、若、諸、の、人、技、遠、陣、と、出、精、と、と、修、理、と、と、果、と、と



豊臣記二巻

十一



蜂須賀の撰兵
櫓を踏ぶ
泥中如意に
美濃勢と
追崩す

豊臣記二巻

十二

